

と人生における利子の役割（7/8）：利子による害（半）

:

明:利子が社会に与えてきた様々な害について。半:利子による国レベルの破的害。

目:[事イスラムのシステム](#)

より: ジャマ ルツ=ディ ン ザラボゾ (2011 IslamReli

日 14 Nov 2011

集日 14 Nov 2011



国レベルにおいては、より破的かつ危な状です。国的な点からた合、利子は人的とも言えることがはっきりしています。展途上国における人々への属は非常に深刻であり、彼らは健康持に不可欠なすら犠にしなければならない程なのです。利子という近代本主の「工作」によって、展途上国では数えきれない程の子供たちが死んでいます。一部のアフリカ国の政府では、保健や教育よりも、の返により多くの金を注ぎまなければならないような状なのです。¹

こうした背景において、UNDP（国画）は、世界でも最もしい20ヶ国の外が免除された合、それによっておよそ2千万人の命が救われるだろうというを示しました。の言い方

をするなら、西 2千年までに に平均13万人の子供たちの命が、 消しにされなかった によって い けられたのです²

ロンドン市 ケン リビングストンは、アドルフ ヒトラ によって された人々の 数よりも、グロ バル 本主 によって 年 され けている人数の方が多いと主 しています。彼は数百万人の死が、 の を拒否したIMF（国 通 基金）と世界 行の原因であると めたのです。ス ザン ジョ ジによると、1981年以来、 年1,500万人から2,000万人の命が に失われたのは、「途 上国の政府が を返 するために、きれいな 料水と保 プログラムの 小を余 なくされたため である」³としています。

加する利子が重くのしかかる は、主 と 制の 失を意味するため、いかなる国家にとっても危 なのです。⁴

このような 面は、偶 的なものではありません。 展途上国、特にその中枢にいる者たち や、その腐 した支配者たちは、彼らの み上げてきた の にして ではないのです。同 に、もし彼らが借用して 状 に らなければ、そうなるべく彼らに して重 がかけられるのです。コ フィ ルドは述べています：

世界 行はそうあり けてきたのです。返 事 は 与に取って代わるようになってきて います。その 果、 行からの借用 は が蓄 し、徐々に主 を失っていきました。いかなる 者でさえ、 者に何らかの干 をすることなく返 を待ち けるといようなことはしません。 去に、巨大 力は 者を思い通りにするためには を用いることさえ 躓 しませんでした。米国人 学者ヘンリ カ タ アダムスは、1887年の名著「公 」でこのように いています：「 外 の授与は 的な外交政策の 立における第一 であり、特定の状 下では、それは必然的に侵略と占 を意味するのである。」

行による 者への待遇はそこまで粗野ではありません。海 を出 させる代わりに、彼らは当 国がいかに金融を管理するのか、法律を作るのか、人々へどのようなサ ビスを提供するのか、そして国 市 でどのような振る舞うのかさえ指 するのです。彼らの 得力はとても 力で、その普遍的 信から、借り手を葬り去ろうと思えば、あらゆる大手の国有 国 力はそれに うため、 行はその な付 その任 の根本的矛盾から生じるもの によって自らを 化 し、借り手からはそれを枯 させるのです。⁵

ジョン パ キンスによる、今や有名な*Confessions of an Economic Hit Man* ????

エコノミック ヒットマン：途上国を食い物にするアメリカ?

では、代の 的 が暴露されています。有能なエコノミストだった彼は、自身の任
についてこう しています：

それらすべてのプロジェクトの の部分は、それが契 する にとって大きな利益をもたら
し、一握りの裕福かつ影 力を持つ一族を喜ばせる一方、 期に渡る 政依存を保 し、それ
ゆえ世界中の政府からの政治的忠 を得る、ということなのである。その 付金の が大き
ければ大きいほど良いのだ。 国家に された 担が、市民の健康、教育、その他の社会福
祉事 を数十年先まで 乏させるであろうという事 は、考 すらされなかったのである。

パ キンスの活 は、スティ ブン ハイアット ~~集の~~ *As Old as Empire: The Secret World
of Economic Hit Men and the Web of Global Corruption*⁸

(帝国に るとも劣らず古い 史を持つ 画：エコノミック ヒットマンと世界的腐 ネットワ
クの された世界) によって受け がれています。ハイアットはこう しています：

は第三世界を支配下に置き けるのである。生き残るための援助や 与金の 期限延
、また借り えに依存する彼らは、IMFの 造 整プログラムと世界 行の 条件によっ
て、 の 造改革と法の改定を いられてきたのである。彼らの 展は忘れられている
のだ。⁹

在の の状 は、利子の主要な役割によって、潜在的に世界全体を破 的な状 に きかねませ
ん。 *Global Trends 2015*

(2015年世界情 予) の中で、米中央情 局 (CIA) はこう めています：

グロ バル の上げ潮は、多くの 的 者を生み出しますが、それがすべてを救 する で
はありません。それは本国と外国で を引き起こし、既に存在している地域的 者
と 者の格差をさらに げるのです。(グロ バリゼ ションの) 化は やかなものでは
なく、慢性的な 政不安と 格差をもたらします。それに れをとる地域、国家、集
は の沈滞、不安定な政治、文化的孤立に直面することになります。それらは政
治的、民族的、思想的、そして宗教的 激主 を 成し、そこにはたびたび暴力が伴

うのです。[10](#)

ノリ ナ ハ ツはその著 *Debt Threat: How debt is destroying the developing world... and threatening us all*??

において、在の世界が直面している巨大な の危 性 もちろん、それは利子なしに巨大とは成り得ませんが について正 に描写する、素晴らしい一章を いています。彼女は 激主やテロの危 性、天然 源の枯 などについて警 を らし、その一面に言及してこう しています:

困、不平等、腐 といった による い副 物は、究 の暴力行 の正当化、さらには合法化を呼びかけるに至っています。世界 易センタ ビルへのテロ事件のわずか数 、著名アフリカ人 家のマイケル フォ ティンはこう いています: 「我々はこの かわしい行 、少なくともその一部は、西 社会の人々により 践されてきた 的抑 によって押しつぶされてきた、自暴自 で辱められてきた者たちの であったことを理解すべきである。」フォ ティンによる「押しつぶされ」「抑 」「自暴自 」「辱め」といった言 使いは、意 的に 起を促しています。そして、そのような言 に 共する があることも、至 明白なのです¹。

的には、利子に する害 についてさらに述べ ねることが出来ますが、ここでは上 のもので十分でしょう。

Footnotes:

¹ Cf., Noreena Hertz. *The Debt Threat* (New York: HarperBusiness, 2004), p. 3.

² Ali Mohammadi and Muhammad Ahsan, *Globalisation or Reconolisation? The Muslim World in the 21st Century*(London: Ta-Ha Publishers, Ltd. 2002), p. 38.

³ Mohammadi and Muhammad Ahsan, p. 43.

に から利子を取り除くだけで、世界の 困 は 的に します。 困 国が支 っている利子の は天文学的な数字に上っ て イルドは しています：「1978年までに、非OPEC（石油 出国 ）の第三 国によって借り入れられた の4分の1は、 する利子のために充てられたのです。中南米の状 は特に酷く、1976 1982年の の借入は倍 し、新たなロ ンの7割は、以 ら来る利子の返 に充てられました。1982年になると、状 は全く不条理なものとなっていました。中南米は年 何百 ド の借入をし、そのすべてを やしていました。 去の の返 に じるためです。」参照：Catherine Caufield, *Myths of Illusion: The World Bank and the Poverty of Nations* (London, England: Pan Books, 1996), p. 137.

たとえ「 免除」が 可され、支 いが延期にされても、利子は加算され けるのです。グウィンによると、「 行は、例 ンドのような国の 付金の 期限「延 」を めたとしても つまり10年の代わりに20年 の 予を与えたとしても 利子は なければならないのです。そして利子こそが 行の 益 算 を底上げするものなのです。参照：S. C. Gwynne, “Selling Money and Dependency: Setting the Debt Trap,” in Steven Hiatt, ed. *A Game as Old as Empire: The Secret World of Economic Hit Men and the Web of Global Corruption* (San Francisco: Berrett-Koehler Publishers, Inc., 2007), p. 35.

ペイヤ は1974年に既にこの 象を特 していましたが、それを正すための 策は事 上何も取られませんでした。参照：C. Payer, *The Debt Trap: The International Monetary Fund and the Third World* (New York: Monthly Review Press, 1974), p. 46.

Caufield, p. 336

ジョン パ キンス、エコノミック ヒットマン：途上国を食い物にするアメリカ（洋 新 社、2007）。

Perkins, p. 15.

Steven Hiatt, ed. *A Game as Old as Empire: The Secret World of Economic Hit Men and the Web of Global Corruption* (San Francisco: Berrett-Koehler Publishers, Inc., 2007)

Hiatt, p. 23.

Quoted from Hertz, p. 156.

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/553>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。